

教科書：筑摩書房「精選 国語総合 現代文編」「精選 国語総合 古典編」

副教材：数研出版「改訂版 体系漢文」「体系漢文 準拠ノート」

尚文出版「基本の古文」桐原書店「新しい古典文法」「新しい古典文法 演習ノート」

文英堂「新大学入試古文単語 336」

Z会「現代文 多読・速習ドリル レベル2」

浜島書店「常用国語便覧」

いっずな書店「Top2500」「学習のポイントが見えるよむナビ現代文2 必修編」

学習目標

本校の国語科の目標

- ①国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ③国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第4学年の目標

- ①自学（自ら学習）できる力をつける。
- ②論理的な文章に対する読解力の基盤をつくり、現代社会における問題の認識を深める。
- ③古典に関する語彙力・文法力を身に付け読解した上で、古典の価値を見つけ出す感性と力を育む。
- ④日常的な読書量の増加を図り、読后感想などを通じ、論理的な説明力・独自の意見を持つ力を身に付ける。
- ⑤漢字力・現代語に関する知識・語彙力を身に付ける。
- ⑥さまざまな文章を読み、そこから価値を見つけ出す感性と、好奇心・探求力を培う。

学習方法

- (1) 本文を読み進め、その内容およびテーマについての解説や説明を行う。
- (2) ノート・プリントに必要事項を整理したり、教員の発問に答えたりする。
- (3) 説明された事項に関して思考し、質問する。
- (4) 学んだ内容について整理して、まとめる。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。				
観点② 書くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができている。				
観点③ 読むこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。				
観点④ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語や伝統的な言語文化への関心を深め、国語および伝統的な言語文化を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしているか。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況観察	○	○	○	○
	課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
	小テスト(漢字テスト、文法テスト)など		◎		◎
	定期テスト、課題テストなど	◎	◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	古典 ・用言及び既習の助動詞の復習確認。 ・新たな助動詞を学習し、定着させることができる。 ・単語力を身につけ、文脈把握ができる。 ・漢文の句法、用字を学習し、文脈把握ができる。 現代文 ・文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につける。 ・また論理的思考力を身につける。 ・環境生命論、言語論、メディア論など幅広い分野の評論文を読む。 ・文脈という空間の言葉の次元で意味を類推し、書き換え、その繋がりと分断を味わい、読み手として小説に参加する楽しさを味わうことができる。	古典 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」 十訓抄「大江山」 伊勢物語「芥川」「東下り」「筒井筒」 列子「朝三暮四」十八史略「完璧」 戦国策「借虎威」 現代文 芥川龍之介「羅生門」 内田樹「ことばとは何か」 驚田清一「〈わたし〉のいる場所」	
2 学 期	古典 ・既習の助動詞について理解を深めることができる。 ・敬語の種類・用法について理解することができる。 ・単語力を身につけ、文脈把握ができる。 ・漢文の句法、用字を学習し、文脈把握ができる。 現代文 ・文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につける。 ・また論理的思考力を身につける。 ・比較文化論、化学技術論、芸術論など幅広い分野の評論文を読む。 ・作品の背景にある極限状況や非日常的な世界を理解しながら人物の心理や情景描写を読み味わうことができる。	古典 土佐日記「帰京」 徒然草「奥山に猫またといふもの」 「花は盛りに」 平家物語「木曾の最期」 更級日記「東路の路の果て」「物語」 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 韓非子「買履忘度」 唐宋八家文読本「雑説」 柳宗元「宋清伝」 帰田録「売油翁」 杜甫「登高」 現代文 山崎正和「演じられた風景」 村上春樹「待ち伏せ」 若林幹夫「魔術化する科学技術」 清岡卓行「失われた両腕」 短歌・俳句	
3 学 期	古典 ・紛らわしい語の識別ができる。 ・敬語の種類・用法について理解することができる。 ・単語力を身につけ、文脈把握ができる。 ・漢文の句法、用字を学習し、文脈把握ができる。 現代文 ・文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につける。 ・また論理的思考力を身につける。 ・経済論、歴史論、身体論など幅広い分野の評論文を読む。	古典 枕草子「うれしきもの」「香炉峰の雪」 大鏡「競べ弓」「三船の才」 方丈記「ゆく河の流れ」 現代文 西谷修「名づけと所有」 遠藤周作「カプリンスキー氏」 夏目漱石「夢十夜」	

学習のアドバイス

後期課程での学習はいかに主体的にかかわることができるか大きな課題となります。授業時間の中で扱う教材はごく限られたものです。それをいかに自分で自学自習できるかということが問われます。今年度使用する教科書及び副教材はどれも自学しながら学べる構成になっています。後期課程三年間で必要となる様々な分野の文章に読み慣れ、読書範囲を広げていくようにしていきましょう。

古典の分野は、基礎となる古語や文語文法の習得が大切になります。語彙力・文法力を身につけることなく、言語感覚・読解力を身につけることはできません。前期課程で身につけた力を生かして、さらに古典の独特の世界観を味わっていきましょう。

単に好きな本を読むのなら誰にでもできます。後期課程ではあらゆる分野の著作を読んでほしいと思います。分野を指定しながら、月に一冊新書を読み、読書記録を書いていきます。しっかりと記録をとるようにしましょう。